第124回国立天文台運営会議議事抄録

日　時：2025年6月18日（水）11時00分～16時00分
場　所：国立天文台大会議室及びオンライン（Zoom）
出席者（会場）：吉田（議長）、兒玉（副議長）、生駒、大向、栗木、河野、小林、齋藤、野村、深川、本間、米倉、渡部 各委員
出席者（Zoom）：臼田、住、田越、宮﨑、山田、横山 各委員
欠席者　　：荒井、鵜澤 各委員
オブザーバー　：土居台長、玉井事務部長

【サイエンスレポート】

次のとおり、研究成果の報告があり、質疑応答を行った。

「Cosmic Himalayas: The Highest QSO Density Peak at Cosmic Noon Bridging AGNs, Galaxies, and IGM」
（国立天文台ハワイ観測所 特任研究員　Yongming Liang）

【台長等諸報告】

１．研究教育職員の人事異動について

土居台長から、資料１に基づき、研究教育職員の人事異動について報告があった。

２．台長諸報告

土居台長から、資料２－１に基づき、TMT関連の状況、国際連携、SX研究開発拠点について報告があり、質疑応答を行った。続いて齋藤委員から、資料２－２に基づき、2026年度の予算編成について報告があり、質疑応答を行った。

【議　事】

１．前回議事抄録について

資料３に基づき、第123回議事抄録について内容を確認した。

２．将来計画策定プランについて

科学戦略委員会の本原委員長から、資料４－１～４－４に基づき、第Ⅳ期第６回から第７回までの科学戦略委員会及び第 4 回から第 5 回までのサイエンスロードマップ策定委員会（2025 年 3 月 10 日、2025 年 4 月 18 日開催）における議論について、資料４－５に基づき、ヒアリングの状況と今後のスケジュールについて、それぞれ報告があり、質疑応答を行った。続いて資料４－６に基づき、サイエンスロードマップ報告書案について説明があり、原案のとおり承認した。また齋藤委員から、資料４－７～４－８に基づき、実施計画策定にかかる説明があり、質疑応答を行った。

３．研究教育職員等の人事について

（１）採用時におけるアンコンシャス・バイアス

吉田議長から、資料５に基づき、人事選考にあたって注意すべきアンコンシャス・バイアスについて説明があった。

（２）研究教育職員の公募について

平林先端技術センター長から、資料６に基づき、先端技術センター先任研究技師の公募について説明があり、質疑応答の後、承認した。

続いて齋藤委員から、資料７に基づき、重力波プロジェクト准教授の公募について説明があり、質疑応答の後、承認した。併せて回収資料１に基づき、同公募に係る人事候補者選考会について説明があり、構成員を選出した。

（３）研究教育職員の選考について

河野委員から、回収資料２に基づき、先端技術センター先任研究技師の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

先端技術センター 先任研究技師　１名

（４）年俸制職員（特任教員）の選考について

深川委員から、回収資料３に基づき、アルマプロジェクト特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

アルマプロジェクト 特任助教　１名

続いて深川委員から、回収資料４に基づき、アルマプロジェクト特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

アルマプロジェクト 特任助教　１名

（５）任期付き助教から任期の定めのない准教授への移行審査について

齋藤委員から、回収資料５に基づき、任期付き助教から任期の定めのない准教授への移行について審査報告があった。審議の後、対象者について可否投票を行った結果、次のとおり移行及び採用することとした。

移行：ＪＡＳＭＩＮＥプロジェクト 准教授（任期の定めのない研究教育職員）　１名
採用：科学研究部 特任助教　１名

（６）助教の職務継続資格審査について

吉田委員から、回収資料６に基づき、助教の職務継続資格審査について報告があった。審議の後、対象者について投票を行った結果、次のとおり助教の職務継続を可とすることとした。

科学研究部　　１名

（７）クロスアポイントメントについて（審議）

齋藤委員から、資料８及び回収資料７に基づき、東北大学とのクロスアポイントメントについて説明があり、承認した。

（８）職務確認書について

土居台長から、資料９に基づき、次の者にかかる職務確認書の報告があった。

2025年5月1日付け着任 アルマプロジェクト 准教授　１名

４．報告事項

（１）専門委員会報告

・ プロジェクト評価委員会

齋藤委員から、資料10-１～10-２に基づき、天文シミュレーションプロジェクトを対象として実施した2024年度国立天文台プロジェクト評価について報告があり、意見交換を行った。

（２）2025年度プロジェクト室等年度目標

齋藤委員から、資料11に基づき、各プロジェクト室等が掲げる2025年度の目標について報告があった。

（３）今後の開催日程について

資料12に基づき、次回以降の開催日程を確認した。

以上